

様式第2号（第5条関係）

平成29年 9月 4日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦 様

栗山町議会議員 藤本光行 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成29年 7月28日 ~ 平成29年 7月30日まで
- 2 旅行先 東京都
- 3 目 的 地方議員研究会、質問アツコ集中講座
市民と議員の糸例つくり交流会議
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成29年7月29日 13:30～17:00 7月30日 9:30～15:00
研修会名	市民と議員の条例づくり交流会議 2017
研修会場	法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎
内容	29 日 ・全国自治体議会の運営に関する実態調査 2017 長野 基氏（首都大学東京） ・全体会「今あらためて議会監査委員を考える」 基調講演 江藤 俊昭氏（山梨学院大学） パネルディスカッション 馬場 伸一氏（福岡市役所） 伊藤 真一氏 桑島 健也氏 30 日 ・分科会 第1分科会「新公会計制度と決算審査」 宮澤 正康氏（習志野市会計管理者） ・全体会「分科会からの報告とこれからの議会改革を考える」

日 時	平成29年7月28日 14:00～16:30
研修先	地方議員研究会主催 質問力アップ集中講座
講座名	質問準備の効果的な方法
講師	宮本 正一氏
1. 調査目的 2. 調査内容 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	4. 弱冠 27 歳で市議会議員となり 20 年の議員活動の中で市議会議長も務められた宮本氏による講座。 一般質問の効果的な活用について、準備から質問その後まで 4 講座に分けて講義が行われた中の第 2 講座目を受講した。 参加者は全国から集まった地方議会議員 30 名ほどで、講義の中では講師から受講者に対してさまざまな質問がなされるなど緊張の中にもそれぞれの自治体事情をかいまみることができ、参考になった。 講義では、質問力を高めるためには「自身の興味のある分野、得意な分野を掘り下げることが執行部とのやり取りにおいてもより中身のある議論ができる。」とか、「質問の内容を充実させるためさまざまな統計の活用（内閣府の各種統計調査等）を行うとよい。」など、実践的な手法について話がなされた。 今後の活動に生かして行きたい。

1. 調査目的 2. 調査内容 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	4. 当議会のサポーターである廣瀬克哉法政大学教授が中心とな って毎年開催される「市民と議員の条例づくり交流会議」に今年 も参加し、議会改革と地方議会におけるタイムリーな話題につい て研鑽を深めた。 冒頭、長野氏から全国的な議会改革の進捗状況についてさまざ まな項目について報告を受けた。個々の調査項目を見ると、SNS の活用や議会報告会などの住民対話の場での工夫など新しい取 り組みが参考になった。 その後全体会が行われ今回は議会選出監査委員にスポットが あてられた。その意義や必要性といった根本論からどう活用すべ きかといった実践面まで執行部側、実際に議選監査委員を経験し た議員側、双方から意見を聴いた。そもそも監査委員というのは 執行部側の持つ機関であって、監査の場面では議員でありながら 首長の要請により職務を行うといったことになる。さまざまな内 部情報が開示され、それに伴ってきびしい守秘義務もある。行政 の監視が大きな目的である議員にとっては悩ましい面もあるよ うだ。 二日目は分科会に分かれての講義が行われた。自身が参加した 第 1 分科会是新公会計制度についての講義であり実際に自治体 職員として会計管理を務めている宮澤氏を講師とする学習会で ある。新公会計制度とは端的に言えば自治体による財務諸表 4 表の導入であり、現金管理だけでなく資産を含めた管理を行う方 法である。講義では新公会計制度の成り立ちから財務諸表の見 方、指標の見方、バランスシートを使って予算決算に活用する手 法などが話された。指標として歳入額対資産比率や資産老朽化比 率などが重要との説明がなされ、今後の当町財政分析の際に活用 してみたいと思った。 毎年参加しているフォーラムだが、毎回違ったテーマが用意さ れ大変勉強になる。サポーターや他自治体議員とのコミュニケー ションもあり、来年も参加したいと思った。
--	---